

令和 3 年度東城地域 M a a S 実証運行事業の報告

1. 令和 3 年度の実証運行の概要

令和 3 年度に、県補助金を活用し東城の 2 つの地域において M a a S 実証運行事業を行った。

(1) 実施内容

対象地区	運行便数	運行事業者
帝釈地区・東城地区（一部）	週 5 日、3 往復/日	備北交通株式会社
新坂地区・久代地区（一部）	週 3 日、1 往復/日	エクシードタクシー有限公司

- ・ A I デマンド交通の運行 【利便性向上、収益性向上、予約受付業務の省力化の検証】
- ・ ほろかによるポイント付与（10 P/回） 【外出意欲向上、購買行動の促進の検証】
- ・ サブスクリプション（乗り放題） 【利用者の外出意欲や頻度への影響について検証】
（以下「サブスク」）

(2) 運行期間

令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 1 月 31 日（3 か月間）

(3) 運賃

運行距離に応じて運賃を設定。サブスクは 8 回利用相当額を月額で設定し、A I デマンド交通、廃止代替バス（東城市街地エリア）、東城市街地循環バスを対象として乗り放題にした。

運賃（回）	定額制運賃（月額）
410 円	3,200 円
310 円	2,400 円
200 円	1,600 円

2. 運行実績

(1) 利用実績

単位：日、人

		11 月	12 月	1 月	合計
帝釈地区	運行日数	20	20	19	59
	延利用者数	78	87	56	221
新坂地区	運行日数	12	12	11	35
	延利用者数	47	30	50	127
合計	延利用者数	125	117	106	348

利用登録者数 139 人（うち乗り放題利用者数 2 人）

	実験前 (8月～10月)	実証実験 (11月～1月)
1便あたり利用者数	1.16人	1.49人
運行距離数(始終線)	9,841.2km	3,409.0km

※実証実験の詳細報告は別紙資料3-2参照

(2) 決算額

事業費 8,935,268 円 (県補助金 8,935,268 円)

(3) 成果

- ・予約型の運行により、利用者数や1便当たりの利用者の増加、走行距離の短縮が図られた
- ・運行エリアの拡充により利便性の向上が図られた
- ・利用者の外出意欲、回数の向上につながった

(4) 課題

- ・帝釈地域における昼間時間帯のバス待機が約6割あった
- ・道路によっては道幅等が狭く10人乗りの車両では乗り入れができない箇所があった一方で、振興区や利用者からはドアツードアの要望が多くあり、今回の実証実験の運行形態のみでは利用実態や希望に沿った交通サービスが提供できていなかった
- ・延利用者の8割を占める60歳以上では1割しかネット予約の利用がなかった。また、アプリを使用した予約では、操作方法が難しかったとの意見が多くあった
- ・サブスクの利用が低調であった
- ・ほろかのポイント付与は、購買行動の増加には直接つながらなかった

3. 今後の取組み

- ・令和3年度実証実験時の県補助金の交付要件に、「社会実装」と「計画に位置付けること」があることから、今後の取組み方針を検討するとともに、実施計画へ反映する